

～昭和30年頃の阿下喜の通り～

通りチーム

1

目的

今もある通りは昭和30年頃はどうなっていたか（本町通り、北町通り、東町通り、西町通り、赤神通り）

探求のきっかけ

私はフーゲツの近くに住んでいたが、小2の時に阿下喜駅の近くに引っ越してきて本町通りに興味を持ったからです。

僕はよく本町通りを散歩するのでその時にたくさんおお店があって昭和30年頃にはどのようなになっていたのだろうと疑問が出てきたからです。

2

昭和30年ごろの北町通り

店

北
町
通
り

店

店

店が少ない！

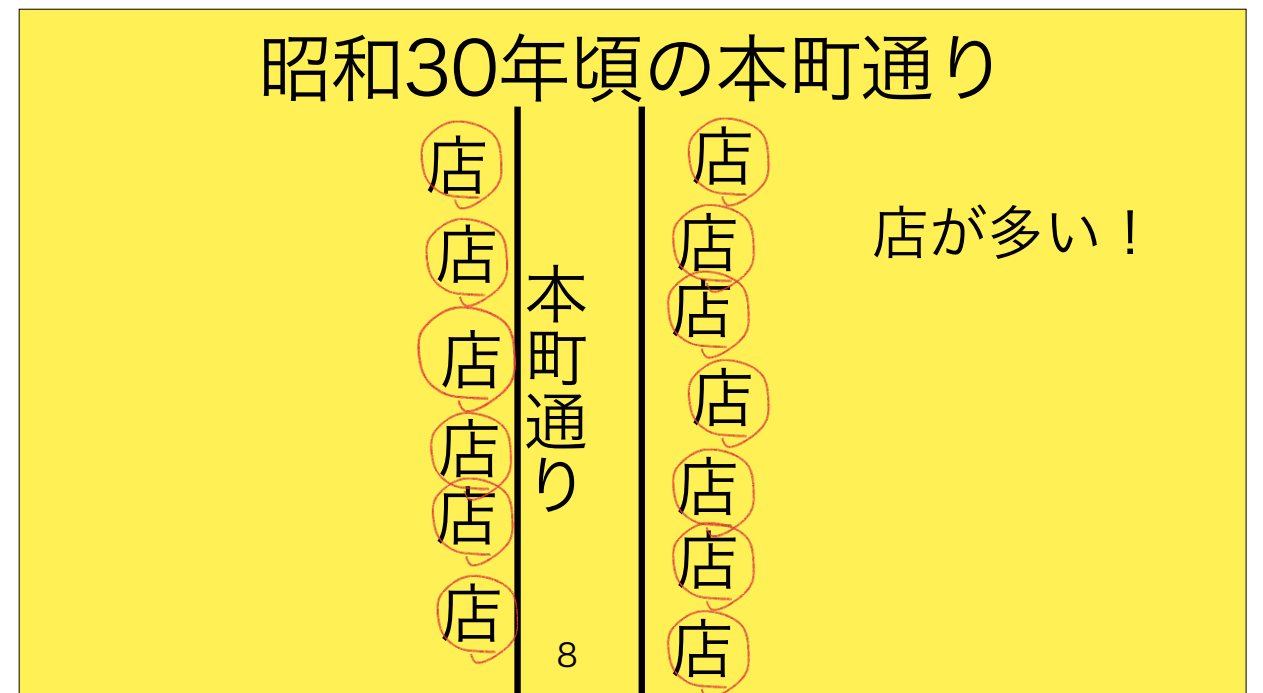
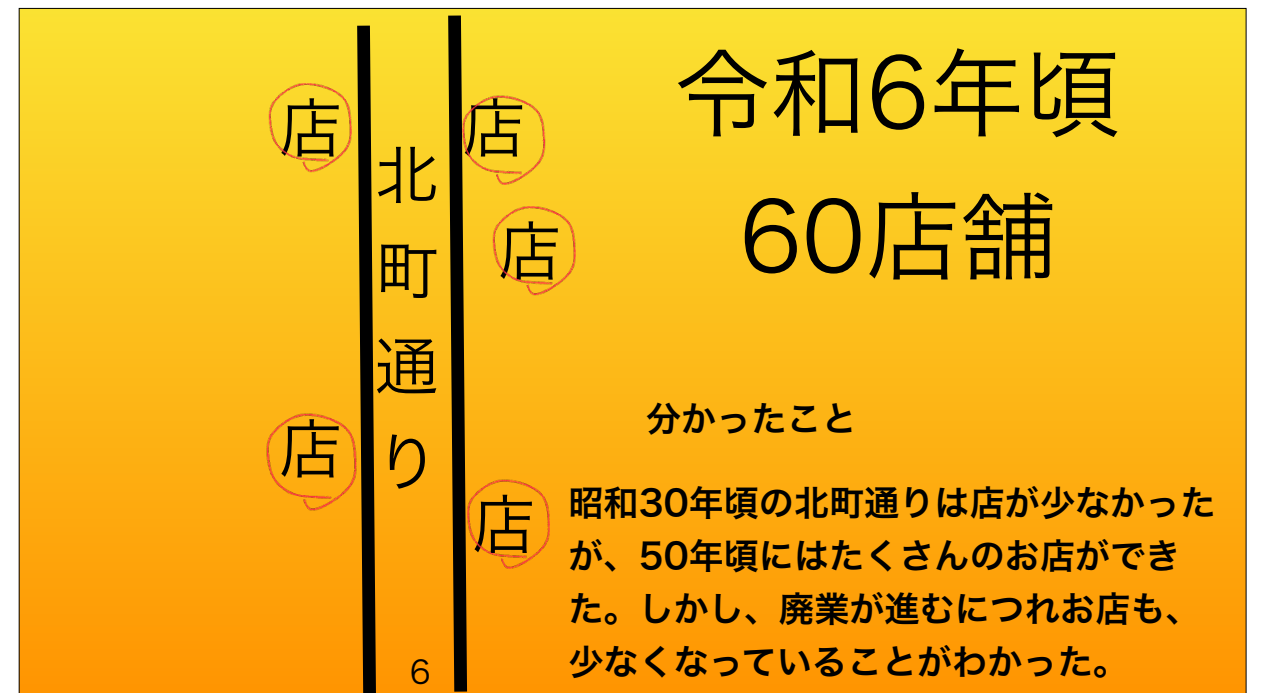
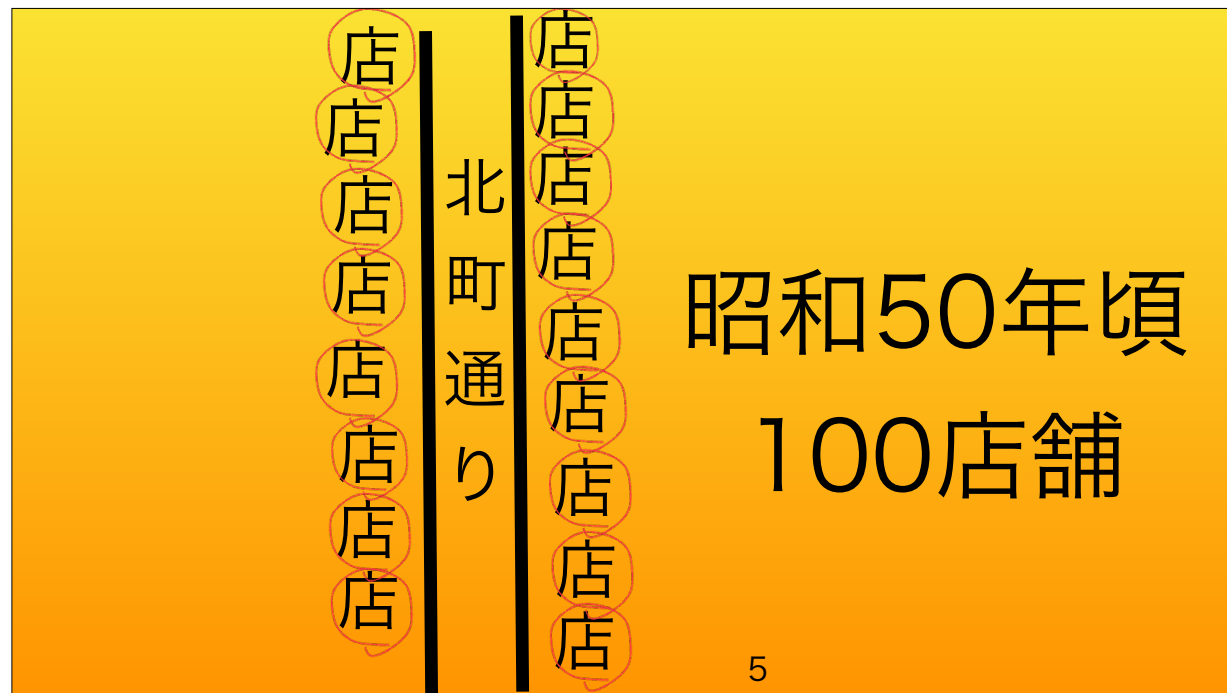
3

話を聞きに行ったところ

北勢モータース



4



話を聞きに行ったところ

佛生山 相願寺 キング理容店 嶋屋



9

じゃり道がアスファルトになったのは
昭和39年頃

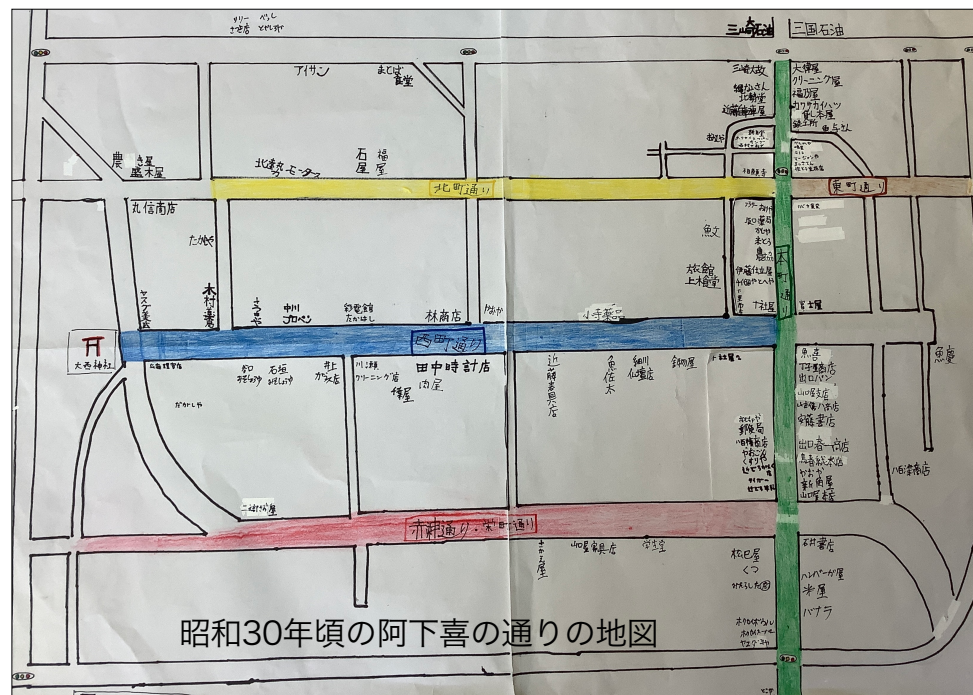
第1回東京オリンピックが開かれた年

今ではシャッターが閉まっている店があります



分かったこと
さすが阿下喜の中で一番道が長い
通りということもあり、昭和30
年頃にはにぎやかな通りだとい
うことが分かった。

10



昭和30年頃の阿下喜の通りの地図

11

探求を終えて

最初は疑問しかなかったけど、阿下
喜楽でもっと昭和30年頃の阿下喜の
様子を知ることができました